



虹

台湾・台中通信
第5号
3月28日
台中日本人学校
中島英治

台湾生活 1 年目を無事に終えることができたのも、学校関係者や現地の方々の温かい支えがあったからこそ。みなさん、ありがとうございました。
2 年目は中国語（北京語）の学習をもっと頑張ろうと思っています。

新台湾紀行

第 4 回 「花蓮^{ホワレン}と太魯閣^{タロコ}峡谷」

私は今まで、景色がきれいと言われる台湾の観光地に行っても、つい北海道の雄大な風景と比べてしまいがちでした。しかし、春休みに出かけた台湾東部の花蓮と太魯閣峡谷は、その思いを改めさせる、まさに息を呑むような美しさでした。



台湾が国連に加盟（復帰）すれば、花蓮・太魯閣は間違いなく「世界遺産」に登録されるでしょう。



赤白帽をかぶる息子。七星潭の海岸で。海の向こうは日本です。

清水断崖。清水山（2407m）山頂から水平距離わずか 4km で海に落ち込みます。断崖に走る横の切れ目は道路です。



中央山脈から太平洋へと流れる急流が時間をかけて作り上げた「大理石の芸術品」です。断崖絶壁には、台湾の東西を結ぶ道路が作られています。右下は工事で亡くなった 212 名が祀られている祠。





今回の太魯閣観光は、民宿のオーナー（日本人）に丸一日、案内をお願いし、ガイドブックに載らないような穴場にも連れて行ってもらいました。左の写真は、戦後、日本の神社を守るために、スイス人の牧師さんが鳥居に「天主教会」の文字を入れることで、国民党による破壊から免



れたものだそうです。鳥居をくぐり神社本殿のあったところには、狛犬とマリア様が置かれていました（右の写真）。

街の風景～台南鹽水・蜂炮祭(爆竹祭り)に行ってきました～

旧暦 1 月 15 日（今年は 2 月 9 日）台南の鹽水（塩水）では、台湾最大と言われる「爆竹祭り」が行われます。中華圏では賑やかな爆竹が大好き。旧正月には妖怪や邪気を払うために爆竹を鳴らし、結婚式でも街中で爆竹を鳴らしお祝いをします。しかし、ここ鹽水の祭りはスケールが違います。なんと、人に向けてロケット花火を打ち込むのです。広場に集結した人々は、たくさんの御輿と一緒に街へ繰り出します。ただし、完全装備。フルフェイスのヘルメットをかぶって数万人が移動する光景は、まるで火星人の集会です（見たことありませんが…）。すると、民家から突如、数千発搭載のロケット花火発射台が出現し、御輿周辺の人々が何かに取り憑かれたようにびよんびよん跳び始めます。その直後、御輿周辺の民衆に向かってロケット花火が発射されます。日本では絶対にあり得ないお祭りです。実際、過去には死者が出たり失明したりする人がいたそうです。今年は、私のすぐ隣の女性が気を失ってしまいました。また、民家に引火して消防車も出動していました。私のデジカメも、ロケット花火の衝撃でへこんでしまいました。



広場の巨大発射台です。



ロケット花火がこちらを向いています。



花火を合図に群衆が跳び始めます。



上からは火の粉が降ってきます。



フルフェイスのヘルメット集団です。



ロケット花火発射！夢中で撮影しました。



足下にも爆竹が…。

【発行者】台中日本人学校 中島英治

自宅住所：台湾台中市南屯區大墩十六街 6 號 3 F - 1 e-mail：eiji-metabolic@cap.ocn.ne.jp

○台中日本人学校のホームページもご覧ください。